



青少相だより



No.67

令和6年3月1日発行

発行 成田市青少年相談員連絡協議会

編集 総務部会

事務局 成田市教育委員会生涯学習課

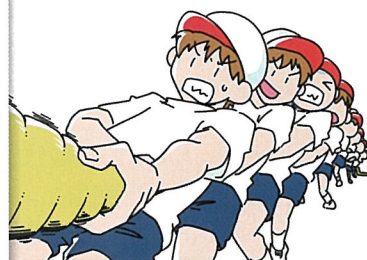
第34回 成田市青少年交流綱引き大会

令和5年12月17日(日)、「第34回成田市青少年交流綱引き大会」が重兵衛スポーツフィールド中台体育館にて開催されました。

市内の小学校及び義務教育学校19学区より36チームの出場があり、監督・マネージャー・選手あわせて601名が参加し、入場の制限がなくなった観覧席からは大きな声援が送られ、大会を盛り上げました。



優勝チーム 成田小学校「成田King」



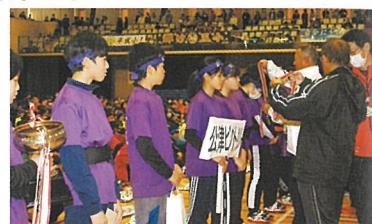
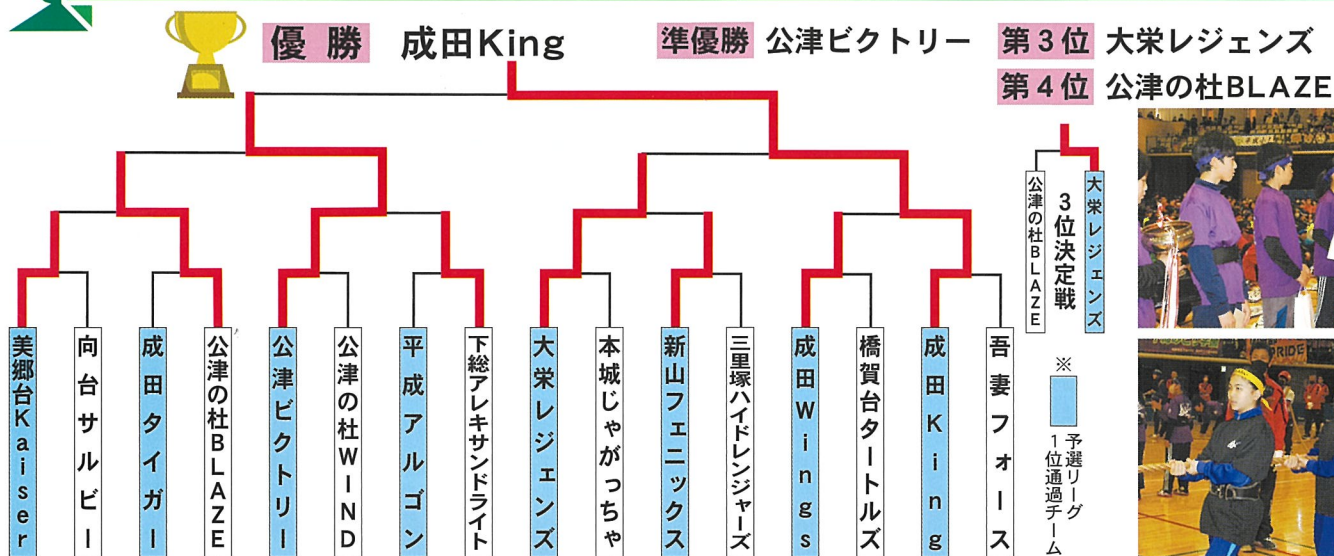
準優勝チーム
公津小学校「公津ビクトリー」



第3位チーム
大栄みらい学園「大栄レジェンズ」



第34回 成田市青少年交流綱引き大会 決勝トーナメント結果



成田King キャプテン 大堀 眞愛

4歳年上の姉が「成田クイーン」というチームでこの綱引き大会に出ていて、その時から楽しみにしていた6年生の活動でした。コロナで2歳上の姉は大会がなかったこともあって、5年生になった時から絶対にやりたい!と思っていたので、6年生になってやることのできて嬉しかったです。

いざやってみると練習が思っていたよりきつくて辛かったです。特に姿勢練習は、体力がなかった私には辛いものでした。好きだったのは練習の終わりにする対決です。1本引きの練習で短い時間の中で身につけたことを試せる機会だったし相手が見えることで、いつも以上の力が出せる気がしたし、楽しかったです。本番の大会で一度も負けずに優勝できたのは練習のおかげだと思います。いつも練習に来てくれた監督、地域の方、おうちの人、そして毎日一緒に練習を頑張ってきた成田小6年生の仲間達がいなかっ

たらできなかったと思うので感謝したいです。

決勝トーナメントで成田Wingsと戦った時、勝った成田Kingの皆は自然と拍手をしてお互いの健闘を称えて、改めて成田小というチームで戦っていることを感じました。個人的にはマラソン大会や陸上大会で良い所を見せられなかったのが一番得意で自信のある力での勝負では絶対に負けたくない!!成田小が一番強い!!と思って戦っていました。公津ビクトリーとの決勝戦では、お互い一進一退の戦いでとても緊張した試合になりました。1本目の最後は体力勝負で勝つことができました。この波に乗って2本目も引き勝つことができました。

優勝が決まった時は、今までの練習の成果が出せた、応援してくれた人達に最高のお返しができると思いとても嬉しかったです。皆のいるところに戻った時すごく喜んでいて頑張ってきて良かったと、仲間と自分自身が誇らしく感じました。



「子ども達の笑顔と躍動する姿に感動」

会 長 津 守 潤

青少年交流綱引き大会は例年2月に開催していましたが、ここ数年のインフルエンザや新型コロナウイルス感染症の状況など様々な事情を考慮し検討を重ね、第34回青少年交流綱引き大会は12月に開催としました。校長先生をはじめ教職員の方々のご理解や各団体からの多大なご協力により、無事大会を終えることができました。

今大会は観客席からの観覧がある中で、子ども達の笑顔

と躍動する姿、大きな声を出しての応援、勝敗に一喜一憂して涙する姿を見ることができたことは大変うれしく、子ども達にとって小学校生活の良き思い出となれば幸いです。

最後になりますが、本大会開催に向けご協力いただきました地域の皆様ならびに関係各位に相談員一同より感謝申し上げます。



予選リーグ結果

各ブロック上位2チームが
決勝トーナメント進出

◆第3ブロック

チーム名	学校名	順位
A 下総アレキサンドライト	下総みどり学園	2
B 大栄ブレイブ	大栄みらい学園	3
C 玉造ジュピター	玉造小	4
D 美郷台YDK	美郷台小	5
E 成田King	成田小	1

◆第6ブロック

チーム名	学校名	順位
A 公津の杜BLAZE	公津の杜小	2
B 成田タイガー	成田小	1
C 平成ネオン	平成小	4
D 久住ブルブル	久住小	3

◆第1ブロック

チーム名	学校名	順位
A 遠山フォルトゥナ	遠山小	5
B 下総ブラックストーン	下総みどり学園	4
C 吾妻フォース	吾妻小	2
D 公津の杜FOREST	公津の杜小	3
E 平成アルゴン	平成小	1

◆第4ブロック

チーム名	学校名	順位
A 大栄レジェンズ	大栄みらい学園	1
B 向台リフレイン	向台小	4
C 平成ラドン	平成小	3
D 橋台タートルズ	橋台小	2

◆第7ブロック

チーム名	学校名	順位
A 向台サルビー	向台小	2
B 公津の杜RAIN	公津の杜小	4
C 本城ファイターズ	本城小	3
D 加良部ファイターズ	加良部小	5
E 新山フェニックス	新山小	1

◆第2ブロック

チーム名	学校名	順位
A 神宮寺ゼウス	神宮寺小	3
B 公津の杜WIND	公津の杜小	2
C 三里塚イエローウィング	三里塚小	4
D 美郷台Kaiser	美郷台小	1

◆第5ブロック

チーム名	学校名	順位
A 公津ビクトリー	公津小	1
B 本城じゃがっちゃ	本城小	2
C 大栄チェイス	大栄みらい学園	5
D 吾妻クライシス	吾妻小	4
E 中台マウンテン	中台小	3

◆第8ブロック

チーム名	学校名	順位
A 加良部スターズ	加良部小	3
B 成田Wings	成田小	1
C 吾妻フロンティア	吾妻小	4
D 三里塚ハイドレンジャーズ	三里塚小	2

「感謝」

体育I部長 荒木 良政

第21期として2回目となる、「第34回成田市青少年交流綱引き大会」を開催しました。大きな事故やけがもなく無事終えることができ、これもご理解、ご協力、ご支援いただいた学校関係者、相談員OB・OG、地域の皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。

当日は体育館の入場制限を設けず、保護者や関係者が観覧できることとなり、選手のやる気と大きな声援があわさって、会場が熱気に包まれた大会となりました。約1カ月前から子ども達、関係者や保護者と一体となって取り組めたことは、我々相談員も成長することができた貴重な経験でした。

子ども達のより良い成長を一番に考えたとき、大会運営としてすべきことは、その時々で常に変わっていくはずで

す。その時は正解だったことも、当たり前にはありません。大会運営というものの難しさを痛感しました。

改善しなければならぬところは多々ありましたが、子ども達のために相談員一同は邁進してまいります。大会の準備や運営に携わっていただいた多くの方々に感謝を申し上げますとともに、今後とも成田市青少年相談員連絡協議会の事業にご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。誠にありがとうございました。



令和5年度印旛地区少年の日・地域のつどい大会に参加して

令和5年9月30日(土)、八街市スポーツプラザにて「令和5年度印旛地区少年の日・地域のつどい大会」(主催:印旛地区青少年相談員連絡協議会)が開催されました。小学校4年生から6年生を対象としたユニカール競技には、印旛地区9市町から61名の参加があり、成田市からは3名が出場しました。

下総みどり学園 5年 鈴木 奏音

私が一番楽しかったことは、力、バランス、戦略の3つの事を意識して対戦出来たことです。チームのみんなと作戦を考えたり、配置を考えたり、他チームの子たちとこんな置き方をされたらどうする?ということをおアドバイスし合ったりと、敵味方関係なく、参加した子ども達みんなが、フィールド内のストーンの配置を観察して、団結することができ、とても充実した競技になりました。また、このような機会がありましたら、参加したいと思っています。



令和5年度成田市青少年相談員研修会

副会長 村島 弘和



令和5年度成田市青少年相談員研修会を2月18日(日)成田市役所大会議室にて行いました。

日頃の相談員活動を行う上で、今の子ども達の現状と子ども達への接し方や指導の仕方を学び、相談員としてのあり方をあらためて自覚するために開催することとなりました。

講師 袴田 忍先生 テーマは「子ども達への支援対策―体験活動を通して考える―」として、(一社)千葉県子ども会育成連合会会長の袴田忍氏を講師に迎えました。袴田氏は「小規模住居型児童養育事業ファミリーホーム袴田ホーム」を運営するかたわら、県内各地でジュニアリーダーの育成、相談員・子ども会等への指導を行っています。講義には袴田氏のさまざまな体験談が盛り込まれ、資料は豊富でとても解りやすく、会場ではメモを取りながら熱心に聴く相談員の姿もあり、子ども達を笑顔にさせるためには自分達がまず楽しんで笑顔になることが重要だと学びました。

今後はこの研修会で得たことをしっかりと実践していくことを目指します。このような研修の機会はこれまでありませんでしたので手探りの準備となりましたが、無事に終了することができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



編集 後記

多くの方のご協力を得ながら、今年度のすべての事業を終えることができました。この春、小中学校・義務教育学校を卒業する子ども達にとって、うなバレー大会、交流綱引き大会が一つの思い出になってくれたら嬉しく思います。

初めての事業や開催時期の検討など、新しいことに挑戦した一年であり、成果もありましたが、課題も残りました。

次年度は任期の3年目となり、第21期の集大成になります。子ども達にとってより良い事業が開催できるように努力してまいりますので、引き続き、相談員活動をご支援、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。